

# ごみ減チャレンジ

おおいそ廃棄物減量化等推進員とは  
各地区から推薦された方が地区に対して分別や減量化の指導及び普及啓発を行います。

## 推進員ってどんなことをするの？

私たち推進員は、各地区から推薦された町民25名が勉強会などで得たごみと資源に関する知識をもとに、ごみと資源の分別や減量化・資源化などについて取組みを行っています。任期は令和3年4月から令和5年3月までの2年間で、各推進員は家庭でできる取組みから地区を交えての周知など、町民の皆さまも一緒になってできる活動をしています。

## 私たちがあなたの地区の推進員です！

### 高麗:富塚 秀一

自治会に入会していない方にごみのガイドブック等を配付できるような調査がしたいです。

### 東町:石倉 元

分別や減量化の知識を習得し、地区での共有や、ごみ集積場所の利用マナーの啓発をしたいです。

### 長者町:鈴木 義美

ごみの減量が目に見えるような形にして、地区に報告できる活動を目指したいです。

### 山王町:小泉 伸之

資源が正しく回収できるよう、分別等を正しく理解し、地区と連動して発信していきたいです。

### 神明町:山田 操

ごみ集積場所が楽しいコミュニケーションの場になるよう、少しずつ変えていきたいです。

### 神明町:益子 憲

地区で発行する新聞をとおして、分別等ごみ集積場所の使用環境改善を目指していきます。

### 北本町:成瀬 秀樹

ごみの減量で気付いたことを地区で共有できるよう、回覧でお知らせしたいです。

### 北下町:石井 勝

生ごみをいかに減量するかが問題なので、町の周知方法を利用して、協力を呼び掛けたいです。

### 南本町:中村 雅一

ごみ集積場所のカラス被害状況や利用者の分別状況を把握したいです。

### 南下町:加藤 京子

フードロスの削減や分別の徹底を行なっていきます。

### 茶屋町:山田 節子

生ごみの減量化方法を地区に周知し、自らは可燃ごみから資源を取り出す努力を実践したいです。

### 裡道:齋藤 久美子

ごみで困っていることや分からないことを解決していければと思います。

### 台町:木下 修司

地区が広いので、まずは地区のごみ集積場所を把握し、情報のデジタル化を実施したいです。

### 西小磯東:近藤 丸子

ごみの分別をしっかりし、資源になるものは可燃ごみで出さないよう周知したいです。

### 西小磯西:佐藤 進

ごみの処理の流れを地区に知ってもらい、正しい分別をすることで、資源になることを伝えたいです。

### 中丸:小島 陽雄

ごみ集積場所を極力巡回し、衛生面を考慮しながら行動したいです。

### 馬場:鈴木 啓支

ごみ集積場所のマナーは良くなってきているので、ごみの減量をアピールしていきたいです。

### 国府新宿:小島 清定

地区と協力して、ごみの出し方や、減量化、分別の必要性を広めていきたいです。

### 月京:簗島 亨

正しく分別して、ごみ集積場所がきれいに利用できるよう見回りを継続したいです。

### 生沢:岩崎 文枝

子どもの手本になるよう、大人が率先して減量化や資源化を行なえるようにしたいです。

### 寺坂:杉崎 正人

ごみに関して地区に理解を深め、多くの方とともに行動し、分別の大切さを伝えたいです。

### 虫窪:服部 恵子

自分だけではなく、地区にも分別の知識を共有したいです。

### 黒岩:守屋 長治

各家庭を訪問し、ごみの減量案を聞き取り、実行・周知したいです。

### 西久保:松本 京子

地区にごみの出し方を理解してもらうために声掛けをしたいです。

### 石神台:高木 敏宏

物を長く使う、ごみにしない、そんな習慣が地区に根付いてほしいです。

### ～推進員の活動の一部～



▲ごみ集積場所の巡回の様子



▲野菜くずを天日干して減量

# 推進員に聞いた！ごみに関するアンケート調査！

## 分別で気を付けてほしい品目は？

### 1位 容器包装プラスチック

理由：汚れたものが混ざることや、きれいなものまで汚してしまうことや、カラス被害に遭ってしまう。容器や包装以外のプラ製品が混じってしまっている。など

### 2位 可燃ごみ

理由：古紙や容器プラなどが分別せずに捨てられてしまうことで、可燃ごみの量が増えてしまっている。燃えるものは全部可燃ごみだと認識している方がいる。など

### 3位 ペットボトル

理由：キャップやラベルの取り外しがあると、それをリサイクルセンターの作業員の方が外している。など



▲容器プラの中にプラ製のひもが混入

▲可燃ごみの中に古紙が混入

## 分別や減量化・資源化のために協力してほしいことは？

- ・「ごみと資源の分け方・出し方ガイドブック」を見てルールを再確認してほしい。
- ・購入した食品は野菜の皮や葉も可能な限り料理して使い切してほしい。
- ・資源になるものを無駄にしない。
- ・可燃ごみに含まれる容器プラを減らすため、汚れは軽くすすいだり、拭き取って資源化してほしい。
- ・可燃ごみに古紙を入れないでほしい。
- ・生ごみは水切りや絞ってから可燃ごみに出してほしい。など

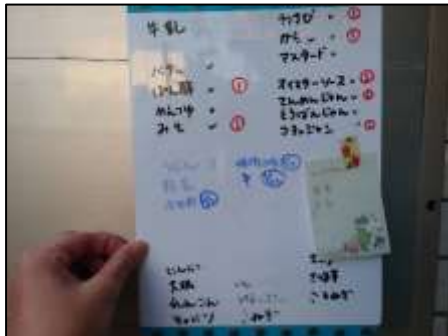
## ごみ集積場所を利用する際に注意してほしいことは？

- ・カラス被害をなくすため、生ごみはネットならすべて内側に収め、集積ボックスなら必ずフタを閉めてほしい。
- ・カラス被害のない葉や草などはネットや集積ボックスの外に置くようにしてほしい。
- ・可燃ごみや容器プラなどを出す際、ごみ集積場所を圧迫させないように空気を抜いて出してほしい。
- ・放火などの危険性があるため、ごみは前日や夜中に出さないようにしてほしい。
- ・収集が終わったら、ポイ捨てをなくすためにもネットや集積ボックスは折りたたんでほしい。など

## 生ごみの減量はできることから始めてみよう！

### ●食品を記録して食品ロス削減！

冷蔵庫にホワイトボードを貼り、中にある食品を記録することで、中を確認しなくても在庫が分かるので、不要な買い物が減り、食品ロスを削減できます！



▲ホワイトボードに食品の在庫を記入して、中身をチェック！

### ●不要な容器を使った生ごみ処理！

ダンボールだけではなく、自宅で使わなくなったドラム缶やポリバケツを再利用し、コンポスターにリメイクして生ごみを減量できます！



▲使わなくなったドラム缶が大型のコンポスターに変身！